

# まちとせかいのうごき

## 人とのつながりの大切さ



2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴い発生した津波被害などの災害、いわゆる東日本大震災で、復興などの陣頭指揮を務めた福島県相馬市長・立谷秀清さんを講師に迎え、8月22日に市民会館大ホールで『防災講演会』が行われました。講演では記録写真をもとに、当時の様子を振り返りながら、人とのつながりを最大限に活かし、災害からいかにして復興したかを紹介。最後は、災害発生時には住民のコミュニティが復興をすすめるうえで大切であり、常日頃からコミュニティづくりを進めてほしいと締めくくられました。

## 災害に備えて



9月6日、富山県総合防災訓練が魚津市をメイン会場に、滑川市では柳原・中野島の2会場で行われました。訓練では、魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、滑川市・魚津市・上市町で震度7、舟橋村で震度6強を観測したと想定して行われました。午前8時30分に防災行政無線から避難準備情報が流れると、各家庭では身を守るためのシェイクアウト訓練や避難所への避難訓練が行われたほか、柳原会場では倒壊建物からの救助訓練や炊き出し訓練など、万が一の災害に対応できるよう、各種訓練が行われました。

## 誰がために鐘は鳴る



『海の見える時計台』まつりが8月29日、東福寺野自然公園で行われました。このまつりは、『時計台の鐘』の作詞・作曲家として知られる故・高階哲夫（旧滑川町出身）の生誕115周年を記念して2012年から始まったもので、今年で4回目の開催となります。当日は、午前11時に同公園の時計台から流れた『時計台の鐘』のメロディーをかわきりに式典がスタート。市内小学生から募った時計台をテーマにした絵画作品の表彰式などが行われ、最後は参加者全員による『時計台の鐘』の合唱で締めくくられました。

## 全国大会で優勝



女子学童の都道府県代表チームによる軟式野球の全国大会・NPBガールズトーナメント2015が8月8日から13日までの期間、さいたま市をメイン会場に行われ、富山県代表チームとして出場した『アルペンガールズ富山』が見事優勝を果たしました。大会終了後の9月8日、同大会に出場した沼田奈瑠美さん（東部小6年・左）と吉森みひろさん（北加積小5年・右）が優勝の喜びを市長に報告。市長から「とても素晴らしいことをやってのけた。苦楽を共にしたチームメイトは一生の宝物になると思うので大切にしてほしい」と祝福しました。

# 祝 谷井孝行選手・男子50km競歩で世界陸上銅メダル獲得！リオ五輪出場内定



【写真】自衛隊体育学校

▲表彰式を終えたあと開かれた記者会見の場でメダルを手にガッツポーズする谷井選手。

中国・北京で開催された第15回世界陸上競技選手権大会で、男子50km競歩に出場した谷井孝行選手（自衛隊・上小泉出身）が、3時間42分55秒で第3位となり、オリンピック・世界選手権を通じて日本競歩初となるメダルを獲得し、2016年にブラジルで開催されるリオデジャネイロ五輪代表選手に内定しました。レースには、日本勢として谷井選手のほか、世界ランキング2位の荒井広宙選手（自衛隊）、山崎勇喜選手（自衛隊）が出場。谷井・荒井両選手は序盤から2位集団につけ、レースを展開しました。試合が大きく動いたのは44km過ぎ。3位のロバート・ヒフアーナン選手（アイルランド）を抜くと、両選手による3位争いとなりました。46km過ぎで谷井選手が荒井選手を離すと、そのままフィニッシュ。ガ

ッツポーズでゴールを決めました。厳しいレース展開からか、ゴールを決めた後、その場に倒れこんだ谷井選手ですが、自身6度目の出場となる世界陸上での悲願のメダル獲得で、その表情はとても晴れやかでした。大会終了後、谷井選手は「今まで5大会連続で参加させてもらい今回6回目で結果が残せてよかった。また、支えてくれた人たちにも感謝している。途中からは、荒井選手と一緒にレースを進めてくれたおかげで、しっかりと落ちてきて最後まで力を振り絞ることができた。本当の戦いは来年にあるリオなので、今回のメダル獲得で気を許すことなく、更なるレベルアップをして次を目指したい」と、今後の飛躍を誓いました。

## 競歩（きょうほ）

■競歩は、3km（女子）、5km（男子）、10km、20km、30km、50kmのいずれかの距離で歩く速さを競う陸上競技種目。  
①いずれかの足が常に地面から離れないように歩く  
②着地から身体の真下に来るまで脚を伸ばしておかなければならない  
というルールのもと行われ、3人以上の審判員からレッドカードを受けたときに失格となる。

## プロフィール

滑川市上小泉出身。日本大学卒業後、佐川急便を経て平成26年に航空自衛隊（自衛隊体育学校）に入隊。これまで、アテネ・北京・ロンドン五輪出場、仁川アジア大会優勝などの実績を重ね、現在、国内外で活躍中

